

学校経営方針

1 学校教育目標 「今を生きる」 ～ふるさとを愛する人の育成～

2 目指す児童像

- 自他を大切にし、思いやりのある子 (豊かな心)
- 心も体もたくましく、ねばり強く挑戦する子 (たくましい心と体)
- 自分の考えを持つ子 (確かな学び)

※育成すべき資質・能力→「情報活用能力」:本校では、「たくさんの情報を取捨選択し、自分で問いとその答えを作っていく力」だと共通認識している。

3 目指す学校像

幸せな学校

- ・児童が通いたい学校:「自分が幸せ」になるための準備の場となる学校
- ・保護者が通わせたい学校:「子どもが幸せ」になるための成長を支え合える場となる学校
- ・地域の人々が誇りに思う学校:「ふるさとの伝統」を継承させる場となる学校
- ・教職員が働きたい学校:「社会人」として、「家庭・地域の一員」として自己実現できる場となる学校

4 目指す教職員像

熱意・誠意・創意のある教職員集団

- ・明るく元気で、夢と情熱をもって教育活動にあたる教職員
- ・成長を目指し学び続ける教職員
- ・児童、保護者、地域に信頼される教職員

5 重点目標及び具体的な取組

児童が主人公であること(学校は児童のためにある。その児童から離れて教育は成り立たない。)

(1) 豊かな心の育成 → 自他を大切にし、思いやりのある子の育成(おもいやり)

- ①命を大切にさせ、心のルール「自分がされていやなことは人にしない」を守らせている。
 - ・人権教育、道徳教育、情報モラル教育
- ②「奉仕」「貢献」「感謝」の心を育てている。
 - ・人権教育、道徳教育、ふるさと教育、たてわり活動
- ③心から「ありがとう」、素直に「ごめんなさい」が言える子を育てている。
- ④児童一人一人の良さを見出し、認め、伸ばす教育を推進している。
 - ・特別支援教育、発達支持的生徒指導、自己肯定感、自己有用感
- ⑤不登校やいじめの未然防止・早期対応・早期解決に努めている。
 - ・居場所づくり、絆づくり、教育相談、支援会議

(2) 健やかな体の育成 → 心も体もたくましく、ねばり強く挑戦する子の育成(ちょうせん)

- ①あいさつ、そうじ、整理整頓、時間順守等、社会生活に必要な習慣づくりをさせている。
 - ・あいさつ運動、たてわりそうじ、くつをそろえる
- ②運動に親しむ活動を積極的に取り入れている。
 - ・たてわり活動、がんばり月間(鉄棒、水泳、マラソン、なわとび)

- ③健康的な生活習慣の定着（早寝、早起き、適切なネット利用）や食育の充実を図っている。
 - ・睡眠時間の確保、朝食の大切さ、給食指導、アウトメディア
- ④自分で立てた目標に向かって、ねばり強く、最後まで取り組む子を育てている。
 - ・学校行事、学級行事、たてわり活動
- ⑤危機管理・危機回避能力の育成を図っている。
 - ・登下校指導、交通安全教室、避難訓練

(3) 確かな学力の育成 → 自分の考えを持つ子の育成（かんがえる）

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業を行っている。
 - ・「授業づくりシート②」を活用した一人1テーマの設定、おいおい教研との連携
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現へ
 - ・子どもの学びに焦点を当てた授業（「どう指導したか」より「どう学んだか」）
 - ・教材研究（生活に密着）、教科等横断的な視点、本物や一流に触れる機会
- ②「情報活用能力」の育成を目指した授業を行っている。
 - ・授業研究、授業改善、（正解主義から修正主義へ、正解から納得解へ）
 - ・プログラミング的思考、ブレスト、教え合い、学び合い
- ③ICTを活用している。（児童一人一人が持つタブレット端末は、文房具という認識で）
 - ・AIドリル（Qubena）の活用
- ④伴走者として、児童一人一人の発達を支援している。
 - ・反復、スモールステップ、UD、個に応じた学習課題
 - ・特別支援教育、個別の教育支援計画、個別の指導計画、支援会議
- ⑤読書活動の充実を図っている。
 - ・名田庄図書館との連携、学級文庫、読み聞かせ、児童会委員会活動の取組

(4) 家庭・地域との連携 → 信頼される学校づくり、地域とともに歩み育つ学校づくり

- ①SDGsを意識し、地域の資源を活かした「ふるさと学習」を推進している。
 - ・ふるさとへの理解や愛着、総合的な学習の時間、体験活動、探究活動（地域貢献）
- ②家庭・地域と連携し、ともに子どもを育てる取組を進めている。
 - ・親子読書、PTA行事（親子ピカピカ作戦、ふれあいチャレンジ教室等）、地域行事への参加
 - ・教育ボランティアの募集
- ③学校公開日を設定し、家庭や地域に学校の教育活動を公開している。
- ④各種たより、ブログ、メディア等を通して、学校の教育活動を積極的に発信している。
- ⑤服務規律の徹底及び綱紀粛正に努めている。

(5) 業務改善 → 「教職員が輝く」働き方改革の推進

- ①校務支援システム（C4th）、学校保護者間連絡システム（Home&School）を活用している。
- ②勤務時間を自己管理し、超過勤務の縮減に努めている。
- ③家庭・地域・学校それぞれで自己実現しようとしている。

6 学校教育目標達成のための合言葉

「今から ここから 自分から だれかのために」